

## 野鳥の声に心もほぐれて 皆で和やかな集いを

### 2 アリスの家

ほっと一息、おしゃべりカフェ

アリスの家の主な活動は、高齢者の「うたの会」と自由参加の「おしゃべりカフェ」です。うたの会は始めて5年ほどですが、高齢や病気のために参加者が少なくなってきました。それでも発足当初からバスで毎回休まずに来られている方もいます。参加者は80代で一人暮らしという方が多く、唱歌や童謡を歌っています。里山など日本の原風景を彷彿とさせる懐かしい歌、今ではもう死語になってしまった格調高い日本語が散りばめられた歌詞を味わいながら、子ども時代をしみじみと回想したり、ゆったりとした曲の調べに豊かな時間を過ごしています。



ふだんは余りおしゃべりする機会がないせいか、お茶のときは話がはずみます。大きな声で歌うことは口の周りの筋肉を動かし、滑舌もスムーズ



にするので自然と嚥下機能も鍛えることになり、何よりも大きく息を吸って吐く呼吸が健康に良いことは言うまでもありません。皆で楽しく歌えば嫌なことも発散できていいことづくめです。

また、おしゃべりカフェは20代や30代の若い方々も来て、お茶を飲みながら歓談の時を楽しんでいます。どちらも家に引きこもりがちの方のご参加をお待ちしています。尚、食事会もありますので、詳しくはお電話で問合せを。(山崎)

**DATA** 所在地 池尻3丁目  
\*バス停「三宿」より徒歩3分  
連絡先 090-8479-5460  
活動日 下記の掲示板を参照

# 地域共生のいえがわら版

ふれる・つながる・ひろがる

第14号

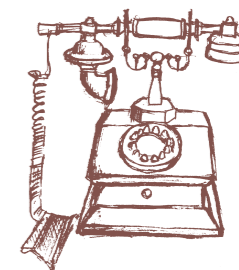
発行：令和2年1月



イラスト：飄斎(小塚秀忠)

## きんしゃい

小さい頃はバレエや茶道を習い、ファッションの仕事や刑期を終えた方々の社会復帰のサポートに携わってきた米屋さん。「人の喜ぶ顔が見れると自分もうれしい」とゆるやかにひらいた自宅。おいしいコーヒーをのみに、一息入れに。「きんしゃい」は、いつでも笑顔で迎えてくれる。



## 地域共生のいえ 掲示板

### 3 ありんかん 在林館 木漏れ日のギャラリー

企画展「ダイダラボッチと守山小学校」

1/9(木)～4/30(木)  
毎週木曜日 14:00～18:00

代田の地名の由来とされる大男ダイダラボッチ。その足跡こそ守山小学校の裏庭にあった窪地でした。民俗学・地形図・昔の生徒の記憶をひもときます。

**DATA** 所在地 世田谷区羽根木 2-34-4  
\*東松原駅より徒歩約4分  
連絡先 03-3321-0530

### 2 アリスの家 ほっと一息、おしゃべりカフェ

アリスうたの会

第2木曜日 10:30～12:00

参加費 200円(お茶代)  
唱歌や童謡などをみんなで歌います。(65歳以上の方対象)

おしゃべりカフェ

第4木曜日 13:30～15:30

参加費 200円(お茶代)  
対象 どなたでも。

**DATA** 所在地 世田谷区池尻3丁目  
\*バス停「三宿」より徒歩3分  
連絡先 090-8479-5460

### 箱庭カフェ 地域共生のいえ 登録に向けて

ちよこより 毎月第1火曜日 14:00～18:00  
参加費 300円(お茶代) お茶を飲みながら、気兼ねなく自由にお過ごしください。地元情報や子育て情報が集まってくる場所です。留学生など日本での暮らしの相談もどうぞ。英語でのお話もOKです。

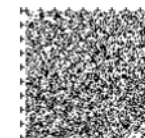
**DATA** 所在地 世田谷区世田谷 4-22-9  
\*世田谷駅より徒歩4分  
連絡先 080-1111-3331

### さくらJoin 地域共生のいえ 登録に向けて

もぐもぐテーブル 毎月第3火曜日 11:30～14:00 参加費 無料

親子でご飯を食べたり、新聞紙をちぎってつくる“しんぶんプール”であそんだりします。\*昼食をご持参ください。電子レンジ・お湯、使えます。

**DATA** 所在地 世田谷区桜1丁目 \*宮の坂駅より徒歩5分  
連絡先 080-5539-8019



# おしゃべりは健康の素 博多マダムがお出迎え

「トラまち」から

**1 きんしゃい**  
年をとっても楽しく美しく



## 人のために動く時、「ソケット」が入る

離婚や死別といった人生のあらゆるステージを経験した米屋さん。相手が「困難を抱えている」と感じると放っておけない。過去に罪を犯したことなどに対する偏見もない。刑期を終え、刑務所を出所した人達の社会復帰のサポートにも携わってきた。そこには「生まれて来たときは皆一緒」という父の言葉も米屋さんの中で生きている。「色々あって今がある、それはあなたも私も一緒だから」そんな想いがあるのかもしれないが、ご本人に言わせると「ソケットが入っちゃう」そうだ。スイッチでもなく、コンセントでもない「ソケット」ということは直

流直結ロケットスタート。ピカッと閃いたら何かせずにはいられない。それが米屋さんという人なのだ。自宅を「きんしゃい」としてひらこうと思ったきっかけは、今の世の中を眺めていて、「直結」とは真逆の、ネットで何でも情報を手に入れることができるが、人と

人が触れ合わずつながりは薄い時代。そんな世の中の流れに危機感にも似たものを覚え、自分に来ることはなんだろうと考えたという。多くの人が美しく年をとること、健康であり続けることを願っているこの時代に、自分の経験を活かして、タンスに眠っている洋服やアクセサリーのアレンジの仕方をアドバイスすることで喜んでもらえたらうれしい。もちろんお茶を飲みに来るだけでも大歓迎。長年米屋さんをサポートする横川さんの淹れるおいしいコーヒーが迎えてくれる。大きなことはできないけれど、小さなことでも人のためにできることを模索する。心底人が好きなのだ。

## 映画のような幼年期を過ごして

下馬の閑静な住宅街。毎週金曜日14時から「きんしゃい」はひらいている。きんしゃいは、博多弁で「いらっしゃい」の意味。代表の米屋慶子さんの祖父は政治家、父は戦後の博多で映画館やホテルを経営。父の口グセは「命と金は他人のため」。いつも食卓には他人がいることが普通。お土産も持たせて帰った後「あの人誰？」と聞くと「知らんよ？」と誰も知らない人が食卓を囲んでいるということもしばしば。時代は昭和の荒っぽい時代。ケンカでケガをした人をかくまうことも日常茶飯事。超一流のものに囲まれながらも、他人のために尽くす父母を見て育った。お話を伺っていると、映画の中の話のようだ。



オープニングセレモニーの様子

## 時代を先取り。 コンシェルジュで 売り上げ一位に

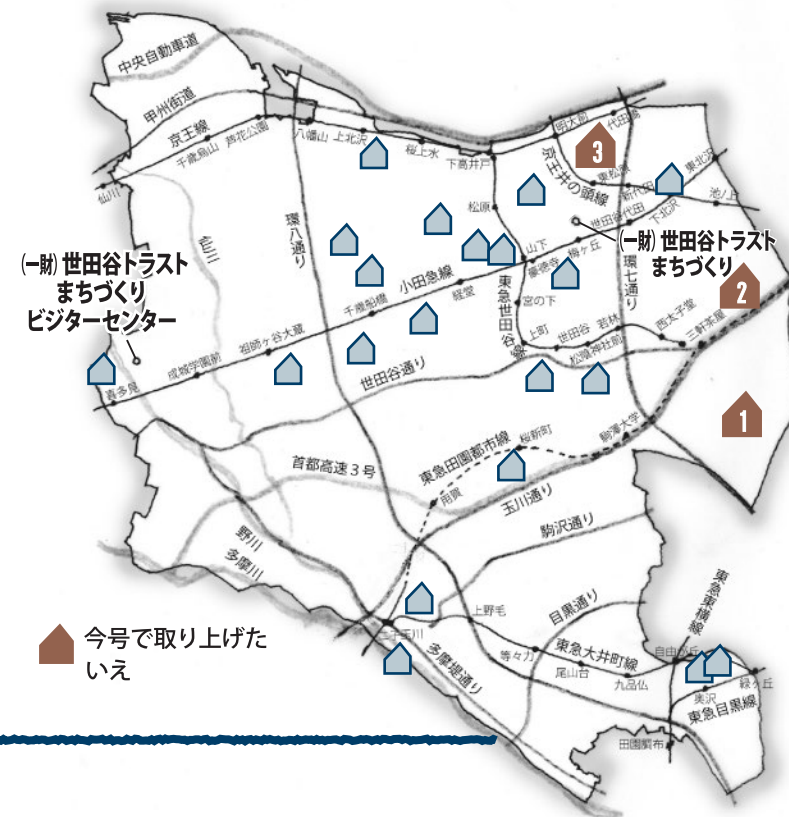
長じて大人になった米屋さんもまた、他人のために動くことを喜びとする人間に育った。高級服飾メーカーの銀座店に勤務の時代は、自分の勤める店舗だけでなく百貨店内をお客さんと巡り全身コーディネートした。「その人に似合うものなら、どの店のだっていい」と、当時から今で言うコンシェルジュのようなことができるカリスマスタッフだった。瞬間に売り上げ1位になった。米屋さんにとっては生家で培った審美眼でその人が喜ぶ組み合わせをただけ。人が喜ぶ顔が見られて幸せを感じるのは今も変わらない。

## やっぱり人が好き！ひと息入れにきんしゃい

「こんにちは。どうもどうも」玄関の扉が開く。近くに住むおばあちゃんは、娘さんにすすめられてここを知ったという。若い頃は海外暮らしも経験し、いろいろな場所へ出かけていた。年月を経て昔のように出かけることはままならなくなっても、ご近所にこういった場所があることがありがたいと話してくれた。

ソケットを入れると灯りがともる。静かな下馬の住宅街にともった地域共生のいえの小さな灯り。豆電球でもいくつも集まれば明るく足元を照らす。ちょっとひと息入れに、米屋さんに会いに行く。コーヒーの香りとともに、あたたかな時間の灯りはともったばかり。米屋さんのまわりに色とりどりの個性あふれる光が集ってくる予感がしている。

**DATA**  
所在地 下馬4-25-2 ※田園都市線三軒茶屋駅より徒歩約16分  
※バス停「駒繫神社」より徒歩1分  
連絡先 03-5787-5913 (米屋)  
活動日 毎週金曜日  
★おしゃべりサロン/14:00~16:00(お茶代200円)  
…イスに座ったままできる柔軟体操やおしゃべりなど  
★けいこのファッション相談室/16:00~18:00  
(参加費500円)



## 「地域共生のいえ」が 注目されています！

NHKのEテレ「あしたも晴れ！人生レシピ」にて「ななこの積み木ハウス」が映像、「アリスの家」と「ぬくぬくハウス」が写真で紹介されました(2019/8/2 放送)。近年広がり始めている自宅を活用した取り組みとして「ななこの積み木ハウス」のオーナーが出演され、活動に対する想い等話されました。どんな活動をしているのか知らなかった近隣の方からも、「放送を見たよ」と声をかけられたそうです。活動への理解や周知にもつながったのではないのでしょうか。

TV 以外でも、地域共生のいえは、2017 年度用の『高等学校 家庭基礎』の教科書に、地域福祉の事例として「岡さんのいえ TOMO」が紹介され、朝日新聞(2019/10/2)では「シェア奥沢」「読書空間みかも」の活動の様子やオーナーの想いなどが紹介されました。その他にも、地域情報誌や専門誌など様々なメディアに掲載されています。

また、国内外の自治体や市民団体等からの視察や、研究で訪れる学生も多くいます。“地域コミュニティの再生”が都市の共通課題となっている今、その解決のヒントとして自宅を地域に活かすという地域共生のいえが注目されているのではないのでしょうか。

そして2019年5月、公共政策が踏み込み難いところにチャレンジした独創的な取り組みであると評価され、地域共生のいえが「2019年都市住宅学会賞業績賞」を受賞しました。オーナーのみなさま、活動を支えてくださっているみなさまに感謝申し上げます。今後も多様な地域交流の場の創出に励んでまいります。